第６号
２０２５年７月

みちのく海のかわら版

海の事故ゼロキャンペーン

2025.7/16▸31

重点事項 1 小型船舶などの海難防止
Prevention of Marine Accidents for Small Vessels

エンジントラブルが多発しています!!

プレジャーボートの海難で一番多いのがエンジントラブルです。エンジントラブルを防止するため、以下の事項を励行しましょう。

1.適切な発航前検査の実施

燃料、エンジンオイル、バッテリー、冷却水などの検査を確実に行い、安全運航を心がけましょう。
また、家族やマリーナ等に航海予定を伝え、万が一に備えましょう。

2.整備事業者等による定期的な点検整備の実施

「中古艇」は特に点検整備が重要です。整備事業者等に依頼し事故防止に備えましょう。

重点事項 2 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
Thorough lookout and promotion of communication between vessels

なんといっても見張りが重要です!!

海難で一番多いのが衝突であり、原因は「見張り不十分」や「不適切な操船」が多数を占めています。

1.常時適切な見張りの徹底

「居眠り運航」や自動操舵任せで見張りをおろそかにせず、常時適切な見張りを行いましょう。

2.船舶間コミュニケーションの促進

次により、早期に船舶間の意思疎通を図り、適切な操船を行いましょう。
○早めに相手船にわかりやすい動作をとる
○国際VHFや汽笛信号などを活用する
○AIS情報の活用と正しい情報の入力

3.漁ろう中の船舶との衝突防止

漁ろう中の船舶は不測の動きをする場合があることから動静に留意し、早期かつ大幅な避航を心がけましょう。

重点事項 3 ライフジャケットの常時着用など自己救命策の確保
Securing of self-rescue measures such as wearing a life jacket at all times

万が一、海に転落した場合、
①浮力の確保 ②連絡手段の確保 ③速やかな救助要請 という3点が必要不可欠です。

海上保安庁では聴覚や発話に障害を持つ方を対象に、スマートフォンなどから入力操作で緊急通報が可能となる「NET118」というサービスを運用しています。

重点事項 4 ふくそう海域などの安全性の確保
Be cautions about dragging anchor under bad weather condition

台風など接近の際は早め早めの対応を!!

走錨に起因する事故防止のために、経営トップから現場まで一丸となった安全管理体制の確保による走錨対策が重要です。

1.船長、運航管理者などへのお願い

○「自船が走錨を起こしうる」という認識の下、危機感を持って事故防止に備えましょう。
○最新の気象・海象情報を入手し、時間的余裕を持って避難を開始しましょう。
○走錨の可能性を把握するため自船及び周囲の船舶の錨泊状況の監視など、適切な当直を実施しましょう。
○主機関・スラスターなどを直ちに使用できる状態にしましょう。

2.荷主企業などへのお願い

○船舶が時間的余裕を持って他の海域に避難できるよう、荷役計画の変更など柔軟な対応をお願いします。

JAPAN COAST GUARD

＼ 東北地方における重点項目 ／

釣り

- ☑ 防波堤や岸壁などでは海中転落する可能性があることを理解し、足場、段差、ロープなどに注意しましょう！
- ☑ 立入禁止となっている場所で釣りを行わないでください！
- ☑ ライフジャケットやヘッドライトなど、釣り場の状況にあった装備を着用しましょう！

遊泳

- ☑ 荒天(強風・高波等)が予想される場合は、海に行かないでください！
- ☑ ライフセーバーや監視員等がいる管理された海水浴場で泳ぎましょう！
- ☑ 子供から離れないでください！
- ☑ 沖に向かって発生する強い流れ「離岸流」に注意しましょう！

漁船

- ☑ 船体動揺に注意し、海中転落を防止しましょう！
- ☑ すぐにローラーを停止できるよう、複数人で声を掛け合って作業しましょう！
- ☑ 裾や袖口をしっかり押さえ、手袋や衣類が巻き込まれないように注意しましょう！！

第二管区海上保安本部　海の安全推進本部(交通部安全対策課)
〒985-8507　宮城県塩釜市貞山通3-4-1　TEL022-363-0111(代表)

海の安全情報　WaterSafetyGuide